

コード	302021001
記入日	H24.6.8

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	浦田 三喜男

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	遺族会補助事業
----------	---------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020210	事務事業名称	遺族会補助事業費	細目コード	207
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金等交付規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 遺族団体		(対象指標1)	1団体			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・新上五島町連合遺族会（5地区）の運営事業に対して補助を行った。	*****	*****	*****	補助金交付団体÷ 補助金交付予定団体	*****
		補助金交付団体数	1団体	100%		平成23年度
		① (達成率分析)	計画どおり補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・遺族団体に補助を行うことで、町の慰霊祭の交通費助成や慰霊碑の適正な管理及び遺族の相互扶助を促進することを目的とする。	*****	*****	*****	会員数÷ 前年度会員数	*****
		① 会員数	695人	95.6%		平成23年度
		① (達成率分析)	会員の高齢化に伴い、脱退及び死亡する方も増えており、会員数を増加させることは難しい。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 団体数	5	5	4	1	1				
	②									
成果指標	① 人	4,822	4,790	4,095	727	695				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	4,443	4,443	3,761	682	682				
直接事業費 A	千円	4,443	4,443	3,761	682	682				
人件費 B	千円									
内訳	従事職員数	人								
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	142	142	71	71	71			
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	4,301	4,301	3,690	611	611			

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	戦後67年過ぎ会員の高齢化に伴い死亡する方も増えているので適切な時期に見直しを行う必要がある。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	会員が高齢化し、慰霊祭の開催と会員同士の交流を図る事業が主で、遺族会継続させる成果は出てる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	事業の性質上、成果を向上させる余地はない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	戦争で亡くなった御英霊の安らかなご冥福をお祈りする事業（戦没者追悼式）を行っている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	遺族会に継続運営に対する補助事業なので代えられない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	会員の高齢化に伴い、死亡等により会員の減少は避けられないので団体のあり方を適切な時期に見直す必要がある。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	団体の活動と補助の交付要件との整合性については毎年度審査しているが、会員の高齢化による会員数の減少及び活動の縮小などが憂慮される。今後も団体と協議し進めていくこと。
----------------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の 対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。